

## 設立趣意書

狩野愛巳は現在早稲田大学に在籍しながら、2016年リオデジャネイロ五輪、2020年東京五輪への出場とメダル獲得を目標に、日々練習に励んでおります。

日本代表に選ばれる条件の一つは世界ランキングの上位に位置していることです。海外の競技大会に多数出場し、ひとつひとつの試合に勝利し、ポイントをコツコツ獲得することで上位に入れます。「海外の競技大会に多数出場」と簡単に言いましたが、海外大会はただれでも出場できるわけではなく、国内外大会で実績のある選手のみ出場できます。すべての試合が大事であり、どんな試合も気を抜くことができません。

一方、海外渡航費だけでも年間約240万円、国内試合移動費が年間約15万円、フィジカルトレーニング・ケア費用が年間約50万円、道具(消耗品)代が年間約25万円、とフェンシングは非常にお金がかかる競技です。これまでは宮城県仙台第三高等学校フェンシング部OB・OG会や個人のご支援を賜り競技を続けることができました。

宮城県仙台第三高等学校フェンシング部OB・OG会は平成25年4月1日、当時仙台三高2年狩野選手のオリンピック出場枠獲得に向けた各予選会出場を資金面から援助することを目的に「狩野愛巳をオリンピックへ応援基金」を設立、その基金には多くの宮城県仙台第三高等学校尚志会会員の方々から寄付がよせられました。卒業までの2年間、温かい応援の気持ちと約200万円が集まり、全額狩野選手の海外渡航費となりました。

仙台三高卒業後の現在は国内外遠征費をほぼ自己負担で行っており、今後はオリンピック出場を目指すことによりこれまで以上の費用が必要となるでしょう。

狩野選手がこれからも心身ともに健やかに、学業とフェンシングを両立させ、国内外の競技大会で活躍できるよう応援したく、また「狩野愛巳をオリンピックへ応援基金」へ賛同された方々の思いも引き継ぎ、カノミナミ後援会を設立いたしました。